



景観の変革：環境負荷から持続可能な利益へ

新しいムラバマスタープラン  
所在地表示 宮脇森林



リヤドのニュームラバ開発は、国内の他の大規模プロジェクトとは一線を画す、ユニークで卓越した都市体験を創出することを目指しました。プロジェクトのアイデンティティと高品質の公共領域を形成する上で、4つの重要な要素が重要な役割を果たしました。線形公園、公共公園とオープンスペース、街路景観、完全な歩行者モビリティです。私たちは15分都市の原則をループ。

- 公共空間にある樹木の総数：約26万本
- 生物多様性を支える60以上の専用生息地 公共領域の面積：3,054,090 m<sup>2</sup> (道路を除く) 道路とオープンスペース内の200,000 m<sup>3</sup>の洪水緩和と150 kmの専用自転車およびモビリティルート
- 11 kmのモビリティループ専用道路と連続歩行者、サイクリング、ARVトレイル



学校での宮脇  
教育機関における宮脇 - プロットについて

- 24 校
- 学校の総延床面積：758,393 m<sup>2</sup>
- 67 キンダーガーデン
- キンダーガーデンの総延床面積：120,600 m<sup>2</sup>
- 学校内のオープンスペースの10~20%に宮脇の森を植えることが提案されています。
- 宮脇森林は、学校の開校後に最終段階で実施され、植樹プロセスに生徒と教師が参加する予定です。

一般的なガイドライン

教師の指導のもと、生徒たちは森の中のさまざまな植物の成長を記録します。植物の測定や写真撮影などの実践的な活動を通じて、生徒たちは生態系のダイナミクスや植物生物学についての理解を深めます。宮脇の森は生徒たちの興奮を巻き立てます。これらの森は、生徒たちが自然の驚異を身近で目撃し、理解する素晴らしい機会を提供します。

宮脇の森は繁茂しており、学生たちが生態学の原理を探求し、保全活動の影響を直接目撃するための生きた実験室として機能しています。

検討対象となる動物

- 鳥類 (樹冠、中層樹冠)
- 鳥類 (地上)
- 昆虫
- 哺乳類 (大型) - ニュームラバの西半分のみで調査
- 哺乳類 小型 全てのニュームラバで奨励
- Lizards (大型) - ニュームラバの西半分のみで調査
- トカゲ (小型) - ニュームラバ全域で奨励されています
- カエル (季節的な水域の周辺)
- コウモリ (重要な花粉媒介者)

生息地の種類

デトリートコネクター

活動内容

遊樂所/休息/シェルター

背棚

網やリ

キャンピの好み

オープンバラスト

Cloud キャンピ

グラウンドニッチ

穴窟り

非侵入



アカシア・セザル var. セザル      アカシア・ユーレンベルグア      シラフィス・スピナクリスデイ      コロキア・カフチキヤ

